

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2008
夏

6月1日発行(季刊)

文化通心



「うまくできるといいなあ」

毎年、卒業式に茶会を催すつくし幼稚園で、陶芸家・伊藤信夫さん指導のもとに茶碗作りが始まりました。お父さん、お母さんをお招きして、“つくし流”のお点前でお茶をさしあげるための一碗。真剣な表情の園児たちは、かわいい紅葉のお手手で粘土と大格闘しました。

伝統文化の形若い心で受け継ぎます
晴友会親睦会思い出ノート
6月から8月までの茶華道・イベント情報を掲載
平成20年度助成金交付団体決定のお知らせ

58

発行・財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

若い心で受け継ぎます

伝統文化の形

現代の日本で「礼節を重んじる」という美点の残る世界は、茶道、華道、武道、芸道……ぐらいのものだろうかという人がいる。一般的に、敬語が使えない若者、学校の先生にタメ口する学生、挨拶の出来ない新入社員、乱暴な言葉でものを言う女性など、世代の推移の中で日本古来の美しさが消えていくと嘆かれながらも、「礼」に始まって「礼」に終わるといふ基本に沿った習い事が見直されている。

子供たちのチカラ

江戸時代の寺子屋授業「読み書き算盤」は子供の勉強内容を象徴して、「シ、ノタマワク」と論語の素読を繰り返して、墨をすって字を習い、ニイテンサクと五つ玉の算盤に数をおく学習風景だったようだ。小さな子供に中国・儒教の祖が説く精神が理解できようかという疑問は、後世になって、あの時代の人間の品格形成に影響を与え、文明開化の明治期に押し寄せた異国の言葉に馴染めたのも素読の習慣で養われた耳が役立ったと言われた。

つまり、孔子が説く仁(政治上・倫理上の理想とする博愛)を成文化した形(言葉の意味)に触れて培った精神や、理屈抜きに形(言葉の音)を受け入れる能力が養われた賜物という推測である。「子供の力恐るべし」であったらうか。

現代の子供たち

近頃おもしろい子供向けのテレビ番組が流行っている。斬新な衣装に身を包んだ狂言師が、「ややこしや、ややこしやあ」を繰り返しながら歌舞伎、文楽、落語、講談などの古典芸能を紹介し、古いものを新しい遊び感覚で親しみ深いものに塗り替えて楽しませている。ごく普通の幼稚園児が落語の「寿限無」を難なく語るのも珍しいことではない。

記憶力の盛んな年頃である。私たちも九九を暗記したり、「枕草子」の書き出しや「アメノマケズ」の詩を誦んじ、「百人一首」の和歌を覚えたりした。しかし、あれは授業の評価に関するとあって必死で覚えたもので、今の子供たちが楽しむ芸能的な遊びとは大きく違っていた。とかく好みイメー

も、現代の子供たちが楽しむのは番組のお手柄ながら、傾向の兆しはあれこれ見えていたように思う。

子供たちの伝統芸能

民族が守り伝えた伝統文化・地域が育んだ伝統芸能は、五穀豊穡を祈って、あるいは、いにしえの人々の魂を慰め、そして、何よりも日々の暮らしに感謝を込めた素朴な祭祀行事から始まったものが多い。親から子へ、古老から若者へと伝承されてきた芸能は、娯楽の少なかつた時代、地域の人々の連帯を深める娯楽の華だった。地域に伝わるがゆえに地域以外の人が見る機会の少なかつた伝統芸能も、近年の観光化したお祭り紹介や写真愛好家の絶好の被写体として広く世に知られるようになった。

少し前の話になるが、故郷の文化遺産「讃岐の伝統芸能見本市」と銘打って、築地子ども会の「子ども獅子舞」、香東中学生の「人形浄瑠璃」、鬼無地区青年たちの「佐料編笠神楽」を一同に会して見ていただく企画をしたことがあった。

会場いっぱいのお客様に感謝しつつプログラムが進行した。子ども会の育成事業の一環として、また、伝統文化活性化のふれあい交流事業や生涯学習活動に繋がるものとして、あるいは、村の古老から若者に連綿と伝え続けたものが舞台いっぱいには繰り返されるとき、主催者側として見えたものは、練習の甲斐ある表舞台の成果もさることながら、この公演に付き添ってきた多くの人々の表



● 円座、香東中学「人形浄瑠璃」



● 鬼無地区「佐料編笠神楽」



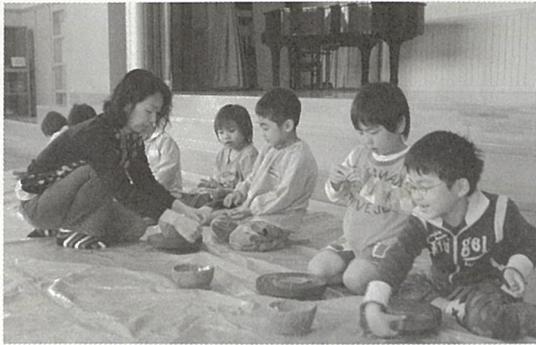
● 築地子ども会「子ども獅子舞」

情の素晴らしさだった。

指導者の温かさでもいうのだろうか。舞台設営の苦勞を終えた後、狭い楽屋や舞臺の袖にたたく大人たちの表情に見守る温かさが感じられ、「長い年月の間、こうして、伝わって来たんだ。今、舞臺に立っている若者たちが大人になった時、今度は自分たちが指導者や後援者になっていくのだろうか」と、未来の光景が想像できる感動的な舞臺裏であった。

子供たちの未来

「礼」に始まって「礼」に終わる稽古も、子供たちを相手にした場合、そう簡単にはいかない。作業に熱心でない子、友達とおしゃべりをする子たちを前に、指導者たちの熱意が空回りする場面もあろう。ところが、発表会ともなると変して「日頃の大騒ぎが嘘のよう」と真剣な子供たちの表情に胸



県内の保育園や幼稚園でも茶の湯や陶芸の体験が盛んになってきた。戦後60年間に渡り、教育の現場に日本の伝統文化はなかった。

をなでおろす風景もよく目にするところ。

何事によらず、指を揃えた手をつけて「よろしくお願いします」「ありがとうございませした」の言葉で終始する稽古を重ねていくうちに、形から入る心を習い、形が整っていくごとに心が成長していく。

子供たちが伝統文化にふれあうことによつて得るものは単なる形だけでなく、古き良き時代の美しい日本を知り、温かなものを守られた自分を感じ、やがて、それを教え伝える大人になっていく過程において、礼を重んじる伝統文化に培われる心の精進が大きかろうと思われる。

しかし、今は結果を想定した未来を期待する打算ではなく、若い心で受け継ぐ伝統文化を存分に楽しんでもらいたいという純粹なエールに留めおきたいと思う。がんばれ、子供たち。がんばれ、若い心。



高松市市民文化祭アーツフェスタ2008に参加する(6月8日)ヤングヤング子供大茶会。いろんな流派で学ぶ子供達が50人集合してお茶の点を披露する。

リレートーク

雅楽という音楽

廣田八幡神社 宮司
香川県神社庁高松支部 支部長
香川県神社庁雅楽部 部長
有限会社ハートソウハート香川 代表取締役

櫻木 守



「雅楽」というと、神前結婚式で流れていた音楽かな?とか神社のお祭りで珍しい音がしている音楽かな?といった認識を一般的に持たれています。今は様々な音楽が世の中に溢れていますが、伝統的な雅楽・邦楽についてはなじみが薄いというのが実情です。

雅楽は、東アジア大陸より伝来した音楽と日本古来の独特の歌舞が融合して成立しました。千数百年もの間、日本で醸造発酵された文化なのです。日本の古典芸能の源流となっているのですが、あまり知られていません。

歴史的に見ると、貴族の遊びと皇室・神社仏閣の祭礼を中心に演奏されてきたので、大衆の音楽として広く開放される事がなかったからです。演奏会として一般市民へ向けて初めて開かれたのは、明治時代になってからのことでした。

また、明治から現在にかけての音楽教育にも問題がありました。近代化の波に飲まれ、西洋音楽一辺倒になり、雅楽に限らず、日本音楽が顧みられなくなりました。これでは日本文化を軽視することになってしまいます。最近、ようやく日本の伝統芸術が教科書に採り上げられるようになってきましたが、改めて日本文化を見直してもらいたいものです。

雅楽の普及にもうひとつ足枷となつたのが楽器が高価であることと、手に入れにくいことでした。今では工作技術が向上して、プラスチック製の稽古用の廉価な雅楽楽器が出来ファン層・演奏家人口の底辺が拡がりつつあるのではないのでしょうか。

日本の古典芸能の能・文学・歌舞伎など、総合芸術として現在も生き抜いています。雅楽も、多種の楽器、管弦、舞楽、歌謡、朗詠などがあり、聴覚的にも視覚的にも楽しめます。現在では、宮内庁の楽師や民間団体が各地で演奏会を行い、接する機会が多くなつてきました。できるだけ良い演奏を鑑賞していただきたいものです。

雅楽を聴いて「何か分からないが、とても良い気持ちになった」とか「心が洗われる感じがした」という方が多くおられます。音色そのもの、舞の動きそのものを、あるがままに感じただけであればそれで良いのです。雅楽の持つ優雅さや、神秘性などが好まれ、年々愛好者も増えていきます。

天井より降りそぐ笙の音、中空をこだまする龍笛の音、地上より湧き上がる箏の音、雅楽の永遠の生命感と宇宙感を現した言葉です。まさに茶の湯と相通じるような気がしませんか?

大角家
二十六代当主がご案内。旧和
中教本舗はその昔栗東市の天
皇の宿にもなった。

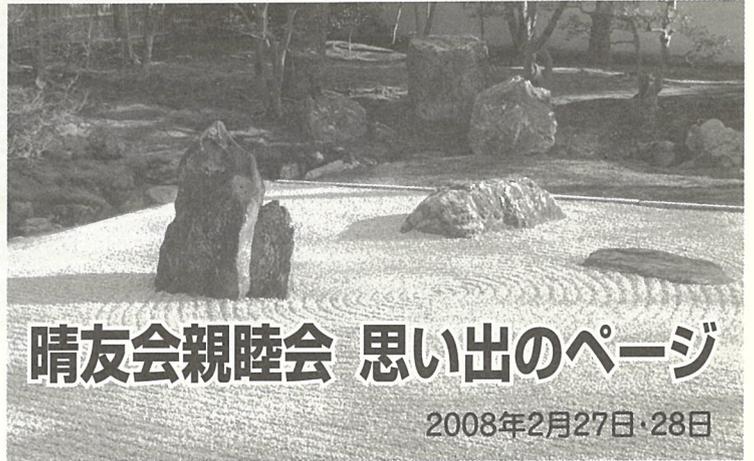


時ならぬ雪は
琵琶湖の宿に着くまで
降り続けた。



居初氏庭園にある茶室「天然図画亭」の借景は琵琶湖。宗旦四天王の藤村庸軒が指導。同家は徳大寺の館長を出した家柄。

樂吉左衛門氏が設計した茶室が完成し、滋賀県に新しくオープンした佐川美術館と本格
精進料理の旅ということで、今回はバス一台をチャーターしての楽しい旅となった。写真を
中心の一部をご紹介させていただきます。

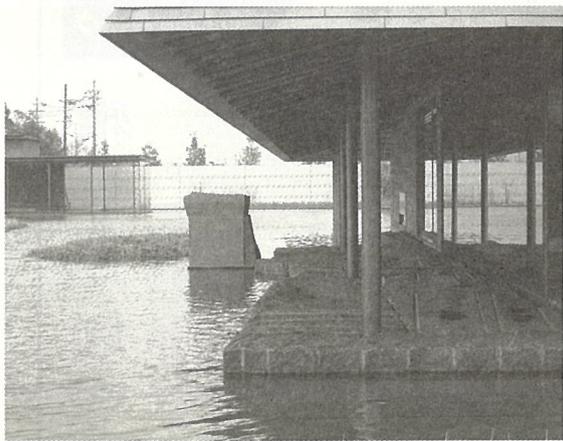


晴友会親睦会 思い出のページ

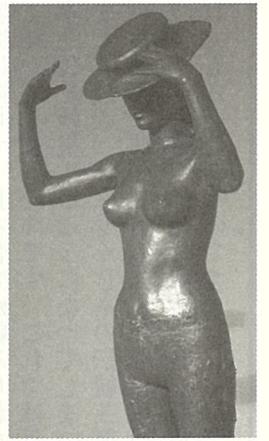
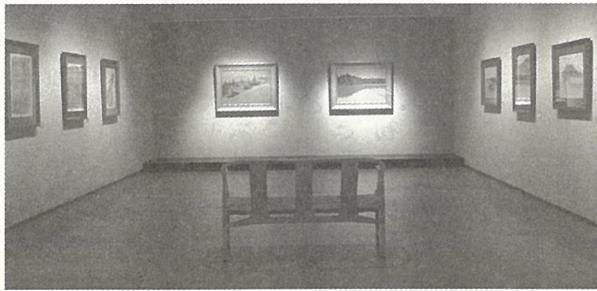
2008年2月27日・28日

早朝バス2台に分乗して滋賀、京都へ出発……。晴友会親睦会、楽しみにしていたこの日、遠足に出かける子供のような気持ちでウキウキ、ワクワク…。琵琶湖を望む美しい自然の中にある佐川美術館。荘厳で優美なそれでいてシンプルな佇まいは来る人の心をとらえて放さない事でしょう。本物を心ゆくまで鑑賞できたこと「本当にきて良かった」…と思いました。錦市場ではあれや、これやと買い物をし、つきあたりにある天満宮を参拝し、短い時間でしたが、充実したひとときでした。なかなか行く事の出来ないところに皆様と一緒にいけたことを感謝しています。とてもよい思い出となりました。企画して頂きました中條様そして晴友会の皆様、ありがとうございました。お礼申し上げます

晴友会 会友 馬場 弘美



佐川美術館には樂吉左衛門氏の作品と茶室、佐藤忠良氏の彫刻、平山郁夫氏の絵画で構成されている。茶室には実際に茶事が行なわれており、寄り付き待ち合い、小間は水の下に在る。水面の高さの広間はジンバブエ産の黒い石と黒いコンクリートに囲まれている。



財団行事予定

(六月～八月)

六月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

六月三日(火)午前十一時～午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

六月十三日(金)午前十時～十二時

季節の和菓子を二三点作ります。

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

六月十七日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆初心者向け茶事

日時 六月二十日(土)

夕ざりの茶事 午後五時～

六月二十二日(日)

正午の茶事 午前十二時～

夕ざりの茶事 午後五時～

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 裏千家楽茶俱樂部

会費 一万五千元 (各定員十名)

◆茶の湯よもやま話 伏見章先生

六月二十四日(火)午後二時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

今回は第一・第四土曜日

山下純子・古市千秋先生

六月七日(土)二十八日(土) 午後時～

七月

◆和菓子講座 高橋初乃先生

七月十一日(金)午前十時～十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

七月十五日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

何モノ？

夏だから涼しそうなお菓子を…。高速道路で見つけました。製造はボエム。洋菓子メーカーがなぜ怪しい。「純生大福きなころ」どどん怪しい。

名前を聞くと全然涼しそうじゃありません。見た目は小さめの大福で、中に入っているのはきな粉餡と生クリーム。ありがちな食材ですが、北海道原乳でつくった生クリームときな粉餡を国産餅米だけを使用したお餅で包み、まわりには和三盆をまぶした、こだわりの贅沢な大福なのです。

でも、まだ涼しくありません。食してみると「あら不思議」冷たい。そう、この大福は冷凍で販売されているのです。食べ頃は常温で30分後ぐらい。

まあ超高級な「雪見大福」ってところですか？生クリームのクリーミーな冷たさに、きな粉餡の甘さが引き立ちます。さらに、まわりの和三盆の上品な甘さが加わり、なんとも贅沢な食感。どうも津田の松原サービスエリアの限定販売らしい。やっぱり怪しい。



喫茶居 (三十三) 「バリの上澄みコーヒー」



王朝の面影を残した贅沢なりゾート気分を満喫した熱帯の楽園・バリ旅行も終盤を迎えて、何となく気ぜわしいものがありました。

最後の観光にタナ・ロット寺院のケチャダンスは如何ですかと誘われて出かけますと、インド洋にゆつくりと陽が沈み、大らかな黄昏が色を濃くして一日の終わりを告げていました。野外劇場の篝火が単調な無言劇を情熱的にもりあげ、波乱万丈の痛快さや大団円のめでたさに巻き込まれ、お神楽を見るような気分浸ったひととき。海辺に漂う潮風のひんやりした中で、思わずシヨールを引き上げた一幕もあり、南国の夜の余韻は身にも心にも…。

その後、デンパサル空港に向かう前のわずかな時間、荷造りも済ませたホテルの部屋で、すっかり馴染みになった「バリの上澄みコーヒー」をいただきました。カップにひと掬いしたパウダーコーヒーに熱湯を注ぎ、スプーンで混ぜた褐色の液体が静まるのを待つて、その上澄みをそっと飲む異国の作法は、茶葉を挽いて点てる抹茶と似て非なる飲み方ながら、旅で覚えた不思議な味に親しみ深いものがありました。

妙心寺の前に建つ本格精進料理の「阿じろ」別館。朱塗のお膳が整然と並ぶ。



相国寺の鐘楼の裏に在る宗旦稲荷神社。昔、宗旦に化けてお茶三昧をした白いきつねを祭る。



晴友会親睦会

伊吹山の歴史・文化・花めぐり

今回の行先は、古事記や日本書紀にもたびたび登場する滋賀県の最高峰「伊吹山」に決定いたしました。神の坐ます伊吹山の歴史と文化にふれ、多種多様な高山植物が咲き乱れるお花畑を散策してみたいかがでしょうか。ご希望の方は、財団までお申込みください。その際、日帰り・泊りのご希望も合わせてご連絡下さい。皆様のご希望の多い方にさせていただきますと思います。

■日時 平成二十年七月二十三日(水)

高松駅 七時発

■申込締切 六月二十日

出発は時間変更になることがあります。詳細はお申込みの方に別途ご連絡致します。

ランチは要予約です。

◆初心者向け茶事

日時 七月二十日(日)

夕ざりの茶事 午後四時三十分～

七月二十日(月)

正午の茶事 午前十二時～

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

席主 裏千家 氏家宗豊

会費 一万五千元 (各定員十名)

◆茶の湯よもやま話 伏見章先生

七月二十一日(火)午後一時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子・古市千秋先生

◆晴友会親睦会

七月二十日(土)・二十六日(土) 午後一時～

伊吹山の歴史・文化・花めぐり

七月二十三日(水) 高松駅七時出発

八月

◆懐石講座 三友居 山本勝先生

八月五日(火)午前十一時・午後三時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

八月八日(金)午前十時～十二時

◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

八月はお休みさせていただきます。

◆茶の湯よもやま話 伏見章先生

八月二十六日(火)午後一時三十分～

◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子・古市千秋先生

八月九日(土)・二十三日(土) 午後一時～

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要。各講座等のお申し込み、お問合わせは、事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8296・3355

茶華道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

6/1 アーツフェスタたかまつ2008 高松市市民文化祭
 席主:安部流洗心会四国支部
 サンポートホール高松7階和室
 500円 9:00~16:00

表千家同門会香川県支部 ☎(0875)83-3785

6/15 総本山善通寺 御誕生会茶会
 席主:佐藤政子
 総本山善通寺宸殿 500円 10:00~15:00
 7/13 表千家流四季茶会 席主:長谷美智代
 中條文化振興財団 500円 9:00~15:00
 8/3 栗林公園蓮見茶会
 席主:同門会香川県支部
 栗林公園掬月亭 1,200円 6:30~13:30

勸小原流高松支部 ☎(087)833-9274

5/28~6/1 小原流みんなの花展 高松南地区展
 席主:高松支部
 丸亀町ヨンデンプラザ 無料 10:00~17:00
 8/24 小原流夏休みいけばな体験講座
 席主:小原流高松支部
 高松市福祉会館6F大会議場
 500円 11:00~12:30

華道一生本流 ☎(087)882-5808

5/29~6/3 一生本流いけばな展
 席主:華道一生本流

高松天満屋7階催場
 花展:当日500円、前売400円
 茶席:500円
 10:00~19:00 (5/30、6/1、6/3は17:00まで)

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

6/8 坂出菖蒲茶会 席主:坂出B班
 川津花菖蒲園 300円 10:00~15:00
 7/6 坂出分会 席主:小川宗周
 勤労福祉センター 500円 9:30~14:00
 7/6 善通寺月釜 席主:善琴青年部
 善通寺樟蔭軒 500円 8:30~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)834-8433

6/1 淡交会月釜 席主:武田宗臯
 天神会館 前売500円 当日600円
 9:00~16:00
 6/1 栗林ライオンズクラブ茶会 席主:香西宗清
 掬月亭 1,000円(入園券・粗品付)
 9:00~16:00
 6/1 市民文化祭体験コーナー 席主:横山宗留
 サンポート1階 無料 13:00~15:00
 7/6 淡交会月釜 席主:田中宗聖
 天神会館 前売500円 当日600円
 9:00~16:00

三癸亭賣茶流高松仙友会 ☎(087)831-6253

6/29 三癸亭賣茶流高松仙友会茶会
 席主:金澤和子、北岡朱美
 披雲閣 1,100円 9:00~15:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

7/13 栗林公園月釜 席主:田所宗雪
 掬月亭 500円 9:00~16:00

東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391

6/8 月釜 席主:表千家流 古賀敬子
 池戸西徳寺
 500円 9:00~16:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

6/1 香川官休会 月釜 席主:竹井清子
 無量寿院 500円 9:00~15:00
 7/6 香川官休会 月釜 席主:小池公江
 無量寿院 500円 9:00~15:00
 8/3 栗林公園蓮見茶会 席主:在松会
 栗林公園商工奨励館 1,200円
 6:30~13:30

ヤングヤング子供大茶会実行委員会 ☎090-6887-0091

6/8 高松市市民文化祭 アーツフェスタたかまつ2008
 ヤングヤング子供大茶会
 (子供たちによる子供たちのためのお茶会)
 茶席 300円・茶の湯体験 300円
 10:00~15:00

茶楽 ☎090-6887-0091

6/29 和洋茶楽
 栗林公園掬月亭 3,000円
 10:00~15:00(指定券のみ)

次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月10日までにお知らせ下さい。

上記予定は変更する場合があります。

イベントガイド

丸亀市教育委員会教育部文化課 ☎(0877)24-8822

6/7 京ことばで綴る源氏物語
 山下智子朗読会
 丸亀城大手一の門内 18:30~
 7/6 現代に甦る「上杉絵巻」
 謙信が愛用した笛(四国初公開)の演奏等
 飯山総合学習センター 15:00~

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

8/2 伝統芸能保存事業(丸亀城のタベ)
 伝統芸能の実演と各地に伝わる盆おどりを開催
 丸亀市民ひろば 13:00~
 8/5 スパニッシュ・コネクションライブ
 (フラメンコギター・ヴァイオリン・タブラ・ベース・パーカ
 ッションの楽器と共にジプシーの道筋を音楽で旅する)
 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館2階展示室B
 19:00~

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

4/6~6/22 ノイエ・フォトグラフィー
 -1920~30年代のドイツ写真- 10:00~
 4/6~7/6 猪熊弦一郎展 10:00~
 6/1、8 連続レクチャー
 テーマ「ノイエ・フォトグラフィーとは何か?」
 2Fミュージアムホール 14:00~
 7/13~10/13 ピピロッティ・リスト展(仮称)
 10:00~ 料金未定

丸亀市縁歌総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

7/12 あやうたサマーコンサート
 大ホール 19:00~(要整理券)
 7/26、27 第10回来恋祭々まつり(文化交流展など)
 小ホール・多目的広場
 26日 12:00~、27日 10:00~
 8/17 レニングラード国立舞台サーカス
 大ホール 13:00~、16:00~
 8/30 小椋佳「歌談の会」 大ホール
 18:00~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

<大ホール>
 6/26 神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル
 19:00~
 7/7~9 狂言鑑賞教室
 和泉元彌の狂言らいぶ 10:00~、13:00~
 7/11 河村隆一 Tour2008 18:30~
 7/24 丸亀蓬萊歌舞伎 松竹大歌舞伎
 14:00~、18:00~
 7/26、27 第13回「スタインウェイピアノ リレコンサート」
 9:30~、13:00~

あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

6/1~15 檜黄州 作陶展 11:00~
 6/15~29 筆塚捨尚展 11:00~
 7/3~15 浜岡健太郎 陶の灯り展 11:00~

7/19~8/10 様々な邂逅展 11:00~
 9/1~11 暮らしの中の骨董展-好奇心をくすぐる品々
 11:00~
 9/13~28 岡田真宏展 11:00~

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

5/30~6/3 貞廣裕子遊ぼうよ展 9:00~
 6/6~10 一器一会 山口太志備前作陶展
 9:00~
 6/13~17 ガラスに咲く彫刻の花2008 9:00~
 6/20~24 日本画・水彩画二人展 9:00~
 6/27~7/1 色あそび・布あそび楽しくキルト展 9:00~
 7/4~8 三好厚男作陶展 9:00~
 7/11~15 游友展 9:00~
 7/18~22 嶋崎允・亀山紀子ガラス展 9:00~
 7/25~30 尾崎政則ペン画展 9:00~
 8/1~5 今城敏雅展-絵画- 9:00~
 8/8~12 秋山和香陶展 9:00~
 8/15~19 図工同好会グループ展 9:00~
 8/22~26 「いいお顔」写真展 9:00~
 8/29~9/2 入江伸子ステンドグラス・布展 9:00~

三豊市教育委員会 ☎(0875)62-1113

6/19、7/17、8/21
 古文書出前講座 瀬戸内短期大学
 19:30~ 先着50名 要資料代

イベントガイド

アルファあなぶきホール ☎(087)823-3131

- <小ホール>
 6/6 チャリティ第50回DoCoMoコンサート
 チェコ・フィルハーモニー六重奏団 18:30~●
 6/8 玉つき屋の千代さん〜女ハスラー繁盛記〜
 11:00~、16:00~(2回公演)●
 <大ホール>
 7/22 N.Y. meets Takamatsu
 ~ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルと
 香川の音楽家たち~ 18:30~●
 8/31 KJO第7回定期演奏会〜躍動のシンフォニー〜
 14:00~●

香川県立ミュージアム ☎(087)822-0002

- 6/11~7/20 特別展 第73回香川県美術展覧会
 9:00~●
 6/15 歴史講座 シリーズ香川の文化財探訪①
 史跡編〜讃岐の古墳文化〜 13:30~●
 6/29 歴史講座 シリーズ香川の文化財探訪②
 彫刻編〜善通寺の仏像〜 13:30~●
 7/3~9/21 企画展 時と暦のものがたり 9:00~●
 7/26~8/31 夏休み子どもミュージアム 親子のアトリエ
 ~遊んで学ぼう伝説のわざと知恵~ 9:00~●
 8/1~31 企画展 美術コレクション展 I
 平山郁夫 讃岐巡礼の道 9:00~●

高松市美術館 ☎(087)823-1711

- 7/25~9/7 開館20周年記念
 コレクション+ (プラス) ひびきあう音・色・形
 2F展示室 9:30~●
 4/4~6/8 魂の印象派 木村忠太 (常設展示)
 1F展示室 9:30~●
 4/4~6/8 彫漆にみる写実と細密 (常設展示)
 1F展示室 9:30~●

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

- <サンクリスタル高松4F特別展示室>
 4/19~6/1 「新収蔵品展」(仮称) 9:00~●
 6/14~7/27 第48回特別展
 「近代香川の人物 菊池寛と同じ時代を生きた人々」
 9:00~●
 8/9~9/21 第49回特別展
 「人形の夢・見ゆる人〜ウィッキング・ドールズ(仮称)」
 9:00~●

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

- 7/4 菊池寛生誕120年・没後60年記念事業
 猪瀬直樹講演会
 講師:猪瀬直樹(作家、東京都副知事)
 演題:「こころの王国 菊池寛と私」
 サポートホール大ホール 18:30~●
 菊池寛記念館文芸講座
 <サンクリスタル高松3階第1集会所>
 6/7 講師:薄井八代子
 テーマ:「菊池寛をめぐる人々」13:30~●
 7/12 講師:野口雅澄
 テーマ:「宗鑑と芭蕉」 13:30~●
 8/2 講師:笹本正樹
 テーマ:「緑の眼をしたおじいさん」
 一少年とイサムノグチの出会い
 13:30~●

香川大学博物館 ☎(087)832-1300

- 6/3~28 企画展「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産」
 10:00~●
 6/14 講演会「ウズベキスタンのオアシス都市と装飾的建築」
 講師:岡野 眞 13:30~●
 7/23~9/20 企画展「昆虫のふしぎ」(仮題) 10:00~●

玉藻公園 ☎(087) 851-1521

- 6/1 第24回 英公様追悼游泳祭 内濠
 <披雲閣>
 6/28,7/26 菊作り講習会
 6/29 三葵亭賣茶流高松仙友会茶会

オリーブホール ☎(087)861-0467

- 6/1 「奥華子」 17:30~●
 6/6 「よしだよしこ」 19:00~●
 6/7 「ASIAN KUNG-FU GENERATION」
 18:30~●
 6/22 「THE イナズマ戦隊」 17:00~●
 6/27 「BENNIE K」 18:30~●
 7/5 「Superfly」 18:00~●
 7/13 「香川大学劇団EMPTY・夏公演」18:00~●

ミュージアム ☎(087)833-0013・0014

- 6/22 'akeu hula 第9回発表会 13:30~●
 8/15 高松西高コーラス部OB会
 第26回 夏の演奏会 18:30~●

高松市国際文化振興課 ☎(087)839-2636

- 6/1 ふるさと香川芸能まつり
 香川町農村環境改善センター 12:00~●

(財)高松市文化芸術財団 ☎(087)825-5010

- 5/31~6/22 高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2008
 サポートホール高松他
 時間・料金は事業により異なる
 8/20~22 演劇ルネサンス工房 ~夏休み親子のため
 のマリオンネット(人形)づくりワークショップ~
 『コミカルパードを作って動かそう』
 サポートホール高松第1リハーサル室
 9:30~、14:00~
 (各時間定員20名、要材料費)

ギャラリーen ☎(087)851-3711

- 7/3~7 川添微 エメラルドの創作ジュエリー展
 10:00~●

高松天満屋 ☎(087)812-7750

- 5/29~6/3 一生活流華道展 7階催場 10:00~●
 <5階美術画廊>
 6/24~30 ~ガレドームを中心に~西洋装飾美術展
 10:00~●
 7/29~8/4 備前 藤原和 陶展 10:00~●

楯笠バレエ団 ☎(087)831-5046

- 2008 インターナショナル ガラ
 HIKASA BALLET 国際交流公演
 8/9 サポートホール高松 大ホール 15:00~●
 8/12 東京五反田 ゆうぽうとホール 18:30~●

(株)三越高松店 ☎(087)825-0738

- <本館5階美術画廊>
 6/3~9 児島新太郎油絵展 10:00~●
 6/10~16 船木伸児作陶展 10:00~●
 6/17~23 青木敏郎展 10:00~●
 6/24~30 近代陶芸の美
 人間国宝と次代を拓いた作家展 10:00~●
 7/1~7 ヨーロッパ装飾美術特集 10:00~●
 7/8~14 夏の掛軸展 10:00~●
 7/15~21 版画フェスタ 10:00~●
 7/22~28 湯山俊久洋画展 10:00~●
 7/29~8/4 千住博の仲間展 10:00~●
 8/5~8/11 新工芸四国会 10:00~●
 8/19~24 香川県美術家協会チャリティー作品展
 10:00~●

8/26~9/1 洋画小品展 10:00~●

ギャラリーアコスタージュ ☎(087)841-8200

- 6/1~29 際展(きわてん) 10:00~(26日休)●
 7/10~21 英国現代版画展 10:00~●
 8/1~25 秀作展 10:00~●

ユンテンスラザ高松 ☎(087)851-3863

- 6/1~2 平成20年度みんなの花展
 小笠原流高松支部
 6/3~8 パッチワーク展

- 「会員20名によるタペストリーバッグ等の袋物50点の展示」
 6/17~22 じーばクラブ水彩画展
 「会員17名による風景画中心の水彩画約25点の展示」
 6/24~29 竹細工
 「会員30名による竹細工約300点の展示」
 8/5 夏休み科学実験教室 10:30~●

高松市石の民俗資料館 ☎(087)845-8484

- <特別展示室>
 6/6~15 水無月展(前期)
 丸尾玉琳作品展 9:00~●
 6/20~29 水無月展(後期)
 押し絵同好会、桜華書道会 9:00~●
 7/4~13 文月展 七宝彩花会、永和書道会
 9:00~●
 7/19~8/24 仮称 鉄道展 9:00~●
 8/30~9/28 仮称 全国のあかりオブジェ展 9:00~●
 <エントランスホール>
 7/19 梅田玲奈ジャズ・ピアノ・コンサート
 18:30~●

ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

- 4/26~6/29 石の彫刻展2008 9:00~●

さぬき市教育委員会生涯学習課 ☎(0879)42-3107

- 7/13 青島広志おしゃべりコンサート
 さぬき市志度音楽ホール 14:30~●
 8/5~17 第6回さぬき市民県展入選等作品展
 さぬき市文化資料展示館 9:00~●

さぬき市志度音楽ホール ☎(087)894-1000

- 7/13 青島広志おしゃべりコンサート 14:30~●

とらまるパベットランド ☎(0879)25-0055

- 6/1 肩掛け人形芝居「さんまいのおふだ」、
 腹話術「ハロー!カンクロー」
 人形芝居燕屋 13:30~●
 6/4~8、14~15、21~22、28~29
 「アラジン、はじめての冒険」とらまる人形劇団
 4~6日10:30~、その他13:30~●
 6/13 特別公演「はこ/BOXESいちゃんのオルゴール」
 デブ・パベットシアター・ひとみ
 13:30~、19:00~●
 7/5~6、12~13、19~21、8/5~10、30~31
 「風の神のいたずら」「うぐいすの宿」
 とらまる人形劇団 13:30~●
 7/26~27 夏休み人形劇祭
 県内のアマチュアサークルが大集合
 13:30~●
 8/2~3 「テーブルであそぶおはなし人形劇」
 人形劇団ひとみ座・ちいさな劇場 13:30~●
 8/12~17 「今夜はうな丼!」「キャンディちゃん」
 糸あやつり人形劇団みのむし 13:30~●
 8/19~24 「ごんぎつね」「大工と鬼六」
 人形芝居くりちゃん 13:30~●

かまどホール ☎(0877)46-2178

- 5/24~6/22 氏家 玉藻の茶 10:00~●
 6/28~7/27 和田邦坊展 10:00~●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 6/22 坂出ウッドブラスアンサンブル演奏会 14:00~●
 6/25 南條隆一座とスーパー兄弟公演 13:00~●
 6/29 第50回坂出地区交歓剣剣詩舞道大会
 10:00~●
 7/6 勸清会 七夕をどり 13:00~●
 7/21 香川県吟詠剣詩舞選手権大会 9:00~●
 8/24 藤間勲武 夏のおどり 13:00~●

中津万象園・丸亀美術館 ☎(0877)23-6326

- 4/25~7/17 絵画への旅シリーズ
 ミレ「肥料を播く農夫」 絵画館 9:30~●
 7/18~9/11 絵画への旅シリーズ
 ケルベ「オルナン近くの風景」 絵画館 9:30~●
 7/27 こども写生大会 園内一帯 9:30~●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合があります。

「文化通心」第59号は9月1日発行です。次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月10日までにお知らせ下さい。

☎(087)826-2212

平成二十年度助成金交付団体決定のお知らせ

第15回中條文化振興財団助成金の交付団体が決定いたしましたのでご報告いたします。助成金は、県内の色々な分野の文化活動を、微力ながら応援させて頂いております。経験・実績の有無や知名度にかかわらず、企画の内容と、誰にも負けない熱意があれば選ばれる可能性があるのがこの助成金制度の大きな特徴です。

「助成金交付団体のプロフィール」

①香川県立高松工芸高等学校 演劇部

代表 川田 正明

昨年に続き二回連続の交付となりました。今回上演作品の「Staff」は新作で、高校演劇の舞台裏をコメディータッチで描かれた作品です。演者等身大の作品のため、現役高校生が何を考えているのか、今後どうなりたいのかなどの本音を聞くことができます。若い力が漲る高校生の「声」に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

日時 平成二十年七月十九日(土)
十三時開演

場所 ユープラザうたづ ハーモニホール
料金 入場無料

②「新日暮亭復興の会」

代表 岡田 澄暉

栗林公園内にある江戸時代に創建された非公開の茶室「新日暮亭」。扁額は「日暮亭」となっていますが、一度公園の外に移築され、昭和二十年に公園に戻って来た時

には、別の日暮亭があったため「新日暮亭」となつたようです。

「新日暮亭」の改修を終え、その茶室披きとともに掬月亭で講演会と茶会が行われます。これを契機に、江戸時代から残っている茶室を一般公開し、楽しんでいただけるようにと各方面に働きかけ準備を進められています。

日時 平成二十年十月十八日(日)

午前十時～午後三時

場所 栗林公園新日暮亭・掬月亭
内容予定 武者小路千家家元千宗守宗匠による茶会と講演会

「新日暮亭」一般公開・掬月亭にて協賛茶会

③客の会(まろうどのかい)

代表 妹尾 共子

当季刊紙一九九九年九月二日発行NO.23より連載されておりますコラム「喫茶居」が、二〇〇七年六月二日発行NO.54の掲載で三十回目を迎えたことを契機に、二冊の本に上梓されます。紙面の都合により割愛されたもの、内容に関連した読み物などを併記し

て、より一層の広がりを持ったものに編集されています。

この一冊が、読者たちの郷土への理解や愛着の一助になると期待します。

タイトル 喫茶居

発行日 平成二十年秋予定

来年度の応募につきましては、年度を通して受付けております。応募期限は、平成二十二年二月末日です。応募方法については、一定の書式がありますので、財団ホームページよりダウンロードしていただくか、事務局までお問合せください。

予告 10月19日(日)開催

あ・うんの数寄大茶会 第4弾 ぐるぐり高松さあーどうぞ!

市町合併にともない、新生高松市となつてからはや二年。国分寺町の皆様、大変お待たせいたしました。今回は、国分寺、五色台方面、女木島と旧高松市街を舞台に行います。

今回の会場は、すばらしいお庭や由緒ある神社仏閣はもちろん、桃太郎伝説のある鬼ヶ島、海岸沿いから山頂までの風光明媚なルート、瀬戸内の豊かな自然などを堪能できるお席になっております。

詳しくは、文化通心秋号にて発表致します。楽しみにお待ち下さい。

編集後記

近くに〇〇の先生がいらっしやうたから…。家族がしていたから…。何かを始める「きっかけ」の問いに多く聞かれる答えです。

習い事であれ、伝統行事であれ、身近な存在が、いろいろな事にかかわりを持つ第一歩になっていると言えるでしょう。そのかわりをずつと持ち続けられたなら、とてもすばらしいことです。しかし、途中で切れたとしても何かの思いは残るでしょうし、またいつかつながるかもしれませんね。

「きっかけ」という種まきの積み重ねが、人の層を厚くし、「継承」につながっていくのだと思います。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一一二

(財)中條文化振興財団編集部

TEL (087) 8266・3355

FAX (087) 8266・2212

info@chujo-zaidan.or.jp